

NICKIA

IKKO CITY INTERNATIONAL ASSOCIATION



特集1：P 2～3
中高生企画イベント ～国際交流ツアー～
P4 宇都宮大学連携事業「日光の再発見」
P5 公式訪問団受入事業



3 MARCH, 2020
No. 27

～ JICA 地球ひろばとメッツァビレッジを巡る～

中高生企画

国際交流

昨年度から実施している中高生企画によるイベント。今年も2019年に姉妹都市であるラピッド市へ派遣された中高生が企画し、「国際交流ツアー」を実施しました。

12月に行った企画会議では中高生が行きたい場所を話し合い、JICA 地球ひろばと埼玉県にある北欧をテーマとした施設「メッツァビレッジ」へ行くこととしました。また「日光市に住む外国人ともっと仲良くなりたい」という意見があったことから、外国人に積極的に声掛けをしました。その結果、アメリカ、ニュージーランド、スイス、パキスタン、ペルーの方の参加があり、とても国際的なツアーになりました。



JICA 地球ひろばには途上国や世界の情勢について学ぶことの出来る様々な設備がありました。例えば、持続可能な開発目標 (SDGs) についてです。私たちが当たり前に過ごしている毎日も、途上国では生活に使う水の獲得だけで、多くの時間がかかってしまい、その為に学校へ行くことができない、という事を知りました。逆に日本はジェンダーの平等や生産・消費については達成度が低く、特に男女格差においては、一部の発展途上国よりも低い、という事を学びました。

食料に溢れている日本でも、普段私たちが何気なく食べているもののほとんどが輸入に頼っており、「もしも輸入がストップしたら・・・」という食事のサンプルを見ると、日本食でさえこれまで通り食べられなくなることを初めて知りました。また、途上国にある学校の教室の再現もあり、日本との違いに驚きました。展示物を見学しながら外国人参加者が「母国ではこうだよ。」などと話してくれ、中高生たちは興味深く聞いていました。



「地球ひろば」を見学後は東ティモールへ2年間派遣され、栄養士として活動をされていたボランティアの方の話を聞きました。

東ティモールという、参加者のほとんどにとって馴染みの無い国について教えていただき、東ティモールに根付いている文化や風習の良い点、それがあつたために活動の中で苦労されたことなど、実際の経験を聞かせてもらいました。

参加者からはたくさんの質問が出ていました。

International Exchange Tour ツアー

昼食は、JICA 市ヶ谷の中にある会議室でビュッフェランチを用意していただきました。参加者の中にイスラム教の方がいることもあり、参加者はみな、ハラール料理（イスラム法上で食べることが許されているもの）を体験することができました。

クスクス（世界最小のパスタ）のサラダやランブータン（ライチに似た果物）などの普段食べることができないものを食し、中高生は食を通じた異文化体験をすることができました。



食事の後は参加者全員で自己紹介の時間を持ちました。

日本語があまり得意ではない外国人参加者もいたため、中高生もがんばって英語で自己紹介をしてくれました。

次に訪れた「メッツァビレッジ」では時間はあまりありませんでしたが、参加者全員が初めて訪れた場所だったので、写真を撮ったり、見学をしたり、買い物を楽しんだりしました。

バスの中でも、中高生が主体となってビンゴゲームをしたり、外国人参加者のリクエストで歌を歌ったりと楽しませてくれました。



～参加者：アフシーンさんの感想 ♡♡♡～

It was a wonderful experience to be part of the 'international exchange tour' organized by the NCIA.

The trip was tremendously informative and entertaining for my husband, daughter and me.

We were well guided by NCIA staff, and through this tour we got the opportunity to know, to communicate, and to be friends with people of different countries. Sharing one another's cultures and traditions were amazing. The exchange tour was not only entertaining but also affordable. The best part was that you cared about our religion and arranged halal lunch. Thank you for the respect, honor, and for bridging the gap among the people of different nationalities.

今回の日光市国際交流協会が実施した「国際交流ツアー」は素晴らしい経験でした。夫、娘、私にとって、とても楽しく勉強になりました。ツアー全体を通してとても丁寧に案内してもらえまして、他国のことを知り、他の国から来た方々とコミュニケーションをとり、友達になることができました。また、お互いの文化と伝統を知り合うこともでき、とても良かったです。また参加費も参加しやすくてとても良かったです。特に嬉しかったのは私たちの宗教に気を遣ってハラール料理の昼食を用意していただいたことです。尊敬と光栄、また、いろいろな国籍を持つ方々との架け橋となっていただき、ありがとうございました！

宇都宮大学の留学生と「観光モデル」を考える

日光の再発見

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターと日光市国際交流協会は、2016年から連携事業として「国際交流都市日光の再発見」をテーマに、市内の各地域をフィールドに課題解決に取り組んできました。今年度は日光地域をフィールドに、食事や宿泊、交通、情報などをテーマに、留学生（外国人+若者）目線で課題について考え、「観光モデル」（=あるべき姿、望まれる姿）についてシンポジウム形式での提案を行いました。



1日目

オリエンテーション&
フィールドワーク
in
日光エリア

テーマごとのグループに分かれ、観光施設や宿泊施設、土産店、飲食店、案内所などを留学生目線でフィールドワーク。施設の方にインタビューし、外国人対応などで苦労していること、課題などを調査しました。

また、外国人旅行者へのアンケートを実施。歩いている外国人を見つけるなり、話している言葉で「あの人〇〇人だ」と判断し、英語だけでなく、母国語でアンケート。留学生の強みを感じました。



テーマごとのグループに分かれ、観光施設や宿泊施設



2日目

フィールドワーク
in
奥日光エリア

2日目は奥日光をフィールドワーク。雄大な自然や大使館群などの観光資源を調査後、グループに分かれてアンケートやインタビューを実施しました。実際にシェアサイクルを利用してみたり、地域の観光事業者と意見交換を実施したりと有意義なフィールドワークとなりました。

また、昼食会場では、海外からのインターン生との意見交換会も開催し、外国人として働くことについても考えることができました。

シンポジウム Symposium

12月7日（土）宇都宮大学UUプラザで報告会を兼ねたシンポジウムを開催しました。当日は、日本交通公社主任研究員五木田さんによる「持続可能な観光地づくり」に関する基調講演のあと、学生グループによる活動報告および提案が行われました。

外国人目線での魅力や課題、若者ならではの提案、これまでも指摘されている課題の再認識もあり、外国人の受け入れについて考えさせられるシンポジウムとなりました。



FRIENDS FROM RAPID CITY

今回の来訪者



Don Lerdal

(ドン・ラーダール)

ギタリストで、ダーラさんのご主人。今回は、ご夫婦で初めての日本訪問です。



Jeff Kaleda

(ジェフ・カレダ)

2度目の日光訪問。過去には奥さんや娘さんも日光を訪れている日光通です。



Darla Lerdal

(ダーラ・ラーダール)

ラピッド市議会議員で、ドンさんと活動するバンドのボーカルでもある、とても活動的な女性です。



Laura Thomas

(ローラ・トーマス)

ダーラさんと長年の友人です。今回は来られなかった、もう一人の友人の顔パネルと一緒に参加しました。

High Lights

10月14日(月)から20日(日)までの7日間、ラピッド市公式訪問団4名が日光市を訪れました。滞在期間中は、市長・議長への表敬訪問を行ったほか、日光東照宮の秋季例大祭で行われた流鏝馬神事・百者揃千人武者行列をはじめ、日光江戸村、東武ワールドスクウェア、華厳の滝、中禅寺湖、酒蔵などの見学を行いました。参加者のうち3名が初めての訪日ということもあり、見るものすべてが新鮮に映ったようです。

南原小学校の見学では、参加者が児童に恐竜が描かれた絵を見せながらラピッド市について紹介する機会もあり、児童も熱心に話を聴く姿が見られました。また、アメリカの小学校にはない、給食や清掃の様子に参加者たちは大変驚き、感心していました。

多くの人達と交流を深めながら、日本の文化や習慣を体験し、秋の日光の魅力に触れた参加者たちは、日光への再訪を誓っていました。



交流会も開催しました!

10月17日(木)には、協会主催の交流会が行われました。姉妹都市締結25周年の今回は、会員の皆さんやホストファミリーが参加し、和やかな雰囲気の中、両市の交流をさらに深めるものとなりました。

また、公式訪問団のメンバーで、ラピッド市で長年バンド活動をしているドンさんとダーラさんご夫妻から、サプライズで歌のプレゼントもあり、会場は大いに盛り上がりました。



令和元年度後期に各部会が開催した事業について報告します。

英語で観光案内

10/16(水) @ 日光市役所&日光東照宮

高校生を含む会員6名が参加し、ラピッド市からの市民訪問団に観光案内を行いました。観光案内の英語が録音されたCDを使い、参加者たちには事前に練習していただきました。歴史や社寺に関する英語は難しかったと思いますが、練習の成果もあり、訪問団の方々に日光をより理解していただくことができました。日光について説明した後は、市民訪問団と共に食事し参加者たちは訪問団との会話を楽しんでいました。

食事の後は、この日のメインイベント、日光東照宮の流鏝馬を見学。英語で観光案内することを通して、互いの文化、姉妹都市交流を深めることができました。



ハロウィン体験2019

10/27(日) @ ニコニコ本陣

天候にも恵まれ、おばけやキャラクターなどに仮装した子供たちが40名ほど参加してくれました。

ニコニコ本陣周辺の商店街の方々にご協力をいただき、恒例の街歩きをしました。「トリック・オア・トリート」と元気に合言葉を言い、お菓子をたくさん集めました。

街歩きの後は、コスチュームコンテストを行い、『怖いで賞』『かわいいで賞』『手が込んでいて賞』などを決めました。またピニャータ(お菓子の入ったくす玉)を叩いて割り、ハロウィン文化を体験していただきました。お菓子をたくさんもらって、皆嬉しそうでした。



クリスマスパーティー

12/21(土) @ 中央公民館 中ホール

今回のクリスマスは『ペルーのクリスマス』!!

ペルー出身のミラグロスさんにペルーのクリスマスについてお話いただきました。家族そろって七面鳥や、ドライフルーツが入ったケーキ『パネトン』を食べることを教えていただきました。また、教会のミサに参加するそうです。

ペルーでクリスマスのとき飲まれるという紫トウモロコシジュース『チチャモラダ』を飲んでいただき、その美味しさに参加者たちは驚いていました。

その後、ケーキのデコレーションをしていただき、それぞれ思い思いのケーキが完成!皆で美味しくいただきました。

プレゼント交換も行い、最後はサンタクロースとトナカイも登場!!サンタクロースからお菓子のプレゼントが配られ、子供たちの喜ぶ様子が見られました。



ウクライナ料理教室

1/31(金) @ 大沢公民館 調理室

ウクライナ出身のマゼキナ・ナターリヤさんを講師に招き、伝統料理のボルシチとキノコのクレープの作り方を教えていただきました。ボルシチの発祥の地はロシアだと思っている方も多いと思いますが、ウクライナ発祥の料理だそうです。

たっぷりの野菜と牛肉、塩でシンプルに味付けされたボルシチに参加者たちから美味しいとの感想をいただきました。

ボルシチに欠かせないビーツですが、初めて食べる方も多く、ビーツを使った料理についても、講師からお話いただきました。

ウクライナ文化を学びながら、おなか一杯になり、楽しいひと時を過ごすことができました。



インド大使館訪問ツアー

2/19(水) in 東京 千代田区

毎年恒例の大使館ツアー。今年は国立近代美術館とインド大使館を巡るツアーを開催しました。はじめに訪れた国立近代美術館では、ちょうど開催中の企画展がなく、所蔵作品展のみとなりましたが、テーマごとに展示された近代美術作品はとて見応えがあるものでした。

お昼はインド大使館隣のインド料理店「ムンバイ」へ。ランチメニューも豊富で、インド大使館御用達を謳うだけあって味も本格的です。参加者の皆さんも、カレーとナンがセットになったものや、インド風炊き込みご飯「ビリヤニ」、食後には「チャイ」などインドの食文化を楽しみました。午後はいよいよインド大使館へ。はじめに案内されたのは大使館併設のカルチャーセンターでした。一般の方向けに定期的にヨガや舞踏などの講座を開催しているそうです。この日もヨガマスターの指導のもと、本場のヨガを体験させていただきました。短い時間でのレッスンでしたが、身体が伸び、リラックスしていくのを感じることが出来ました。

その後、大使館会議室へ場所を移し、インドと日本、日光との関係についてプレゼンテーションを受けたのち、質疑応答が行われました。質疑応答では、インドの教育や言語、宗教などについて、さまざまな質問が出されましたが、ヴァルマ大使自らが参加者の質問に丁寧にお答えいただきました。飲酒についての質問では、宗教やカースト制度などによって飲酒しにくい国のイメージがあるインドも、実はそんなことはないそうです。大使からは、インドに行ったら是非インド産の美味しいワインを味わって欲しいとのお話もありました。

帰りには、チャイやインドのお菓子「クラブジャムン（ドーナツのシロップ漬け）」などもご馳走になりました。インド大使館の皆さんの手厚い歓迎に、参加された皆さんも満足された様子でした。インド大使館の皆様、ありがとうございました。



日光市国際交流協会について About Us

私たちは、国際交流、国際理解の向上を目指し、様々な活動をしています。姉妹都市交流をはじめ、海外の文化、外国の方との交流、異文化体験をしてみませんか？日光市の特性を生かした市民レベルの交流活動を行います。お子様からご年配の方まで楽しんで学べるイベント、講座などを計画しています。ぜひ、お気軽にお越しください。

会費について Admission Fee

個人会員： 3,000円

家族会員： 5,000円

法人会員： 10,000円

※会費の資格は毎年4月に自動更新されます。退会ご希望の方は翌年7月までにお申し出ください。

協会会員データ Number of Members

個人会員：225人

家族会員：13家族

法人会員：45法人

日光市在住外国人数 ※R2年3月1日現在

1011人（ベトナム…285人、フィリピン…160人、中国…120人、韓国…65人、台湾…64人…）

ボランティア登録について

当協会では下記のようなボランティアを募集しています。詳しい情報や登録を希望される方はお問い合わせください。

ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れしてくださるご家族を募集しています。

日本語教師ボランティア

在住外国人向けの日本語教室にて、日本語を教えていただけるボランティアを募集しています。資格・経験は問いません。学習者に日本語を教えてみませんか？見学もできます。（原則第1、2、4木曜日）詳しくはHPで

国際理解推進員募集

当協会では日本人、外国人を問わず、国際理解や異文化教育（言語、文化、歴史、舞踊、料理、物づくりetc）に関わる講師をしてくださる方を募集しています。

翻訳・通訳ボランティア

当協会と日光市が発行する資料などの各種言語への翻訳や海外からの訪問者の通訳などにご協力いただける方を随時募集しています。特に、資格等は問いません。

今後の予定



5月22日(金) 18:00～
令和2年度総会及び懇親会

×××お知らせ×××

新型コロナウイルスの影響で、3月に予定しておりました事業をすべて中止させていただきました。
今後の事業の実施につきましては、随時ホームページやチラシなどでご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

日光市国際交流協会では、「ユネスコ世界寺子屋運動」に協力しています。
書き損じはがきや未使用の切手、プレペイドカードなどを回収しています。ご自宅に眠っているタンス遺産をぜひご寄付ください。

事務局
連絡先

日光市国際交流協会事務局（日光市観光経済部観光課内）

TEL:0288-21-5196 FAX:0288-21-5121



〒321-1292 日光市今市本町1番地

Email: kankou@city.nikko.lg.jp ホームページ: <http://www.nikkocity.org/>

Facebook ページを開設しました。 [日光市国際交流協会 Facebook](#) で検索!

